

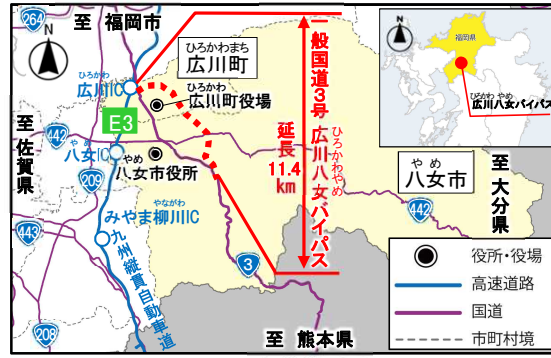
一般国道3号 広川八女バイパスに係る新規事業採択時評価

- ・現道の交通転換による交通渋滞の緩和および交通事故の減少により、円滑で安全な道路ネットワークの構築
- ・広域道路ネットワークが強化され、所要時間の短縮が図られることで、物流交通や沿線の企業活動を支援
- ・道路の高さを想定浸水深以上とすることで、災害時でも信頼性の高い道路ネットワークの構築

1. 事業概要

- ・起終点：福岡県八女郡広川町新代
～福岡県八女市立花町下辺春
- ・延長等：11.4km
(第3種第2級、2車線、設計速度60km/h)
- ・全体事業費：約340億円
- ・計画交通量：約5,500～9,000台/日

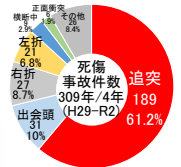
乗用車	小型貨物	普通貨物
約3,900～5,500台/日	約800～1,500台/日	約800～1,900台/日



2. 課題

①交通渋滞による速度低下と事故多発

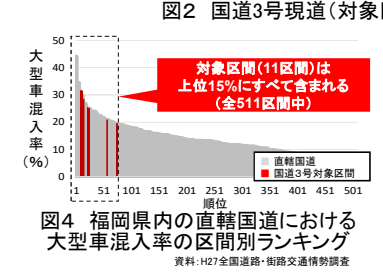
- ・対象区間は主要渋滞箇所が4箇所存在。交通容量を超過しており、スーパー等の店舗も多く、出入りによる速度低下も発生。(図2)
- ・対象区間は事故危険区間が6箇所存在。渋滞が一因と考えられる追突事故の割合が約6割と高い。(図2、図3)



②円滑な物流交通を阻害

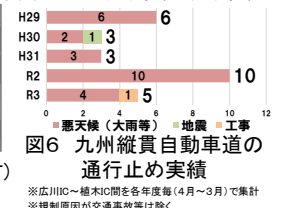
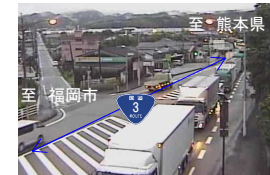
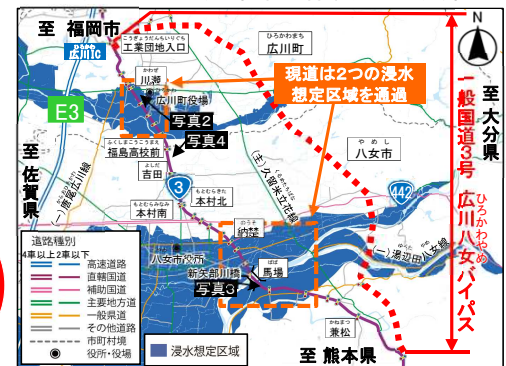
- ・対象区間周辺には広川中核工業団地を中心に製造業企業が集積。
- ・物流交通により、対象区間は大型車混入率が30%超と非常に高い区間があるだけでなく、県内直轄国道の大型車混入率上位15%に11区間が存在。(図2、図4)
- ・慢性的な渋滞により、所要時間が増大し、円滑な物流交通を阻害。(図2、写真1)

項目	交通調査基本区間(1～11)										
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
交通量(台/日)	20,054	24,282	24,352	13,415				19,011			11,582
混雑度	1.39	1.53		0.87				1.21			0.75
大型車混入率(%)	20.9	19.5		28.5	25.1			31.5			34.4



③災害に対して脆弱な道路ネットワーク

- ・対象区間は2つの浸水想定区域を通過しており、例えば、平成24年7月九州北部豪雨時に冠水が発生し、市民生活に多大な影響が発生。(図5、写真2)
- ・平成30年7月豪雨時及び令和2年7月豪雨時に、並行する九州縦貫自動車道が通行止めとなり、国道3号現道への交通集中に伴う激しい渋滞により広域的な物資輸送に支障。(図6、写真3、写真4)



3. 整備効果

効果1 渋滞緩和と交通事故の減少【◎】

- ・交通転換により、国道3号現道の交通が分散し、渋滞が緩和。
[混雑度(吉田交差点付近):【現況】1.53→【整備後】1.18(約2割減少)]
- ・渋滞緩和により、追突事故が削減。
[国道3号現道の交通事故件数:【現況】77件/年→【整備後】45件/年(約4割減少)]

効果2 所要時間の短縮による地域経済活動の支援【◎】

- ・交通分散により、国道3号現道の大型車混入率が減少。
[国道3号現道の大型車混入率(馬場交差点付近):【現況】31.5%→【整備後】9.3%]
- ・広域道路ネットワーク整備により、所要時間の短縮が図られ、物流交通や沿線企業活動に寄与。
[広川中核工業団地～道の駅たちばなへの所要時間:【現況】28分→【整備後】11分(17分短縮)]

効果3 災害時における信頼性の高い道路ネットワークの構築【◎】

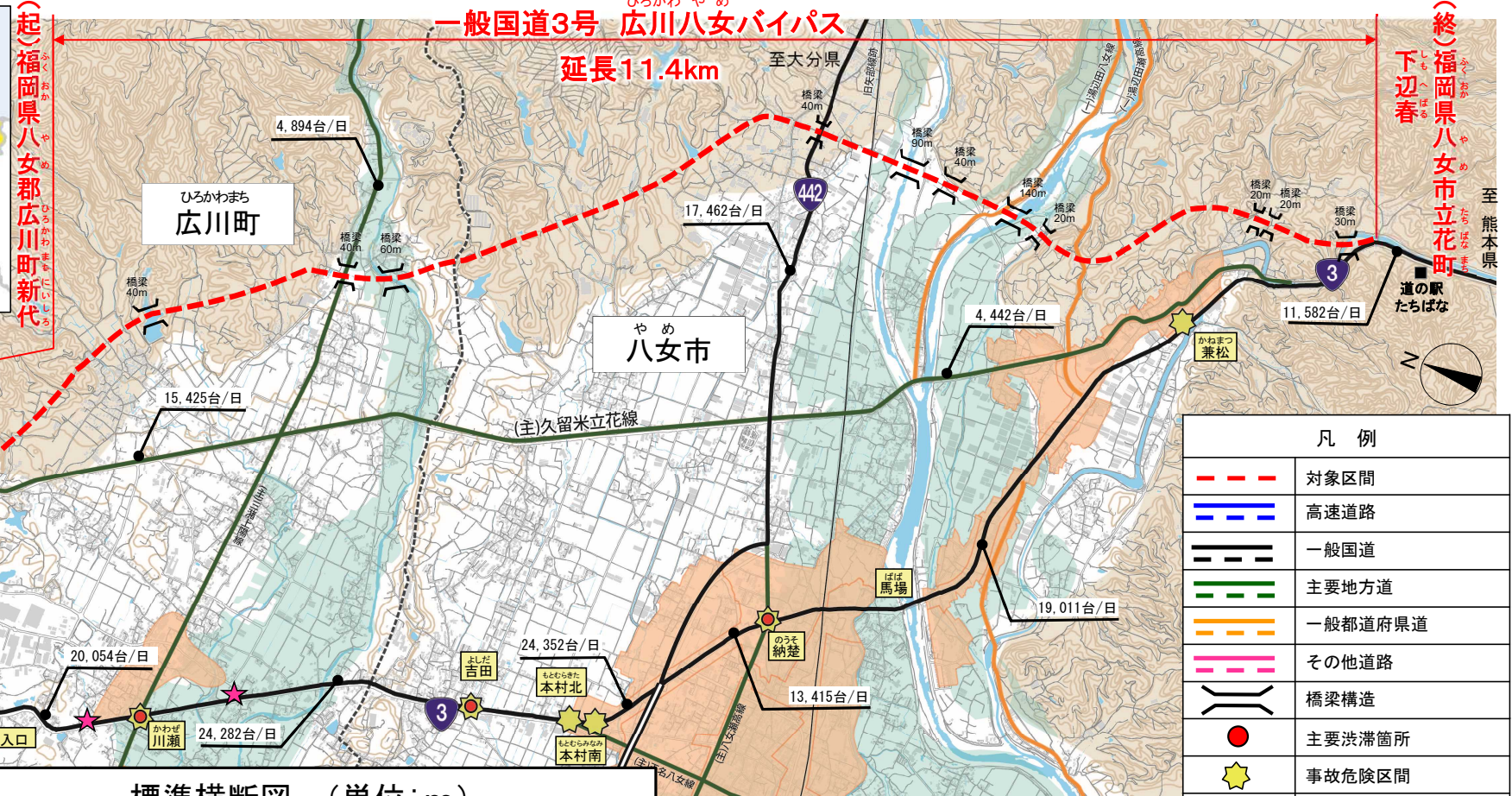
- ・災害時、高速道路通行止めによる国道3号現道への交通集中が発生した場合の代替路を確保。
- ・道路の高さを確保することで、国道3号現道の冠水時に別線での通行が可能。
[浸水想定区域の通過延長:【現況】3km(国道3号現道)→【整備後】0km(広川八女バイパス※)]

費用便益分析結果(貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの)

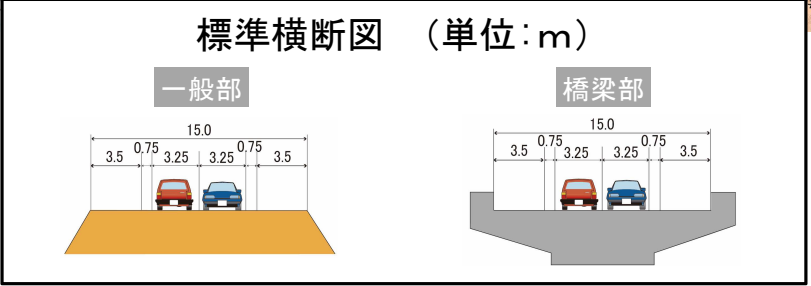
B/C	EIRR※1	総費用	総便益
1.3	5.4%	272億円※2	342億円※2

※1: EIRR: 経済的内部収益率 ※2: 基準年(令和4年)における現在価値を記載(現在価値算出のための社会的割引率: 4%)

一般国道3号 広川八女バイパスに係る新規事業採択時評価



凡例	
	対象区間
	高速道路
	一般国道
	主要地方道
	一般都道府県道
	その他道路
	橋梁構造
	主要渋滞箇所
	事故危険区間
	死亡事故発生箇所(H29~R2)
	通行止め箇所
	交通量(H27全国道路・街路交通情勢調査)
	市街地
	車線数(2車線/4車線)
	浸水想定区域



全体延長: 11.4km
土工延長: 10.8km (95%)
橋梁延長: 0.6km (5%)

計画縦断面図

